

スクリーニング検査の申し込み方法

当センターではウェブサイトからお申し込みを承っております。

1

「SAS対策支援センター」で検索し、サイトにアクセス。「検査のお申し込み」をクリック



2

「検査お申し込みページ」から「法人」または「個人」を選択



3

必要事項を記入してお申し込みください。
後日担当者から連絡させていただきます。

スマホからでも申し込みが可能です

QRコードをスマートフォンから読み取ると
申し込みページへ直接アクセスいただけます。



法人専用お申し込み



個人専用お申し込み



加害者がSASと診断された事故事例

2012年4月29日乗客約40名を乗せたバスが群馬県藤岡市の関越道で防音壁に衝突。乗客7名が死亡する大事故になった（日本の高速道路上の事故で、最多の死亡者）。鑑定留置の結果、運転手はSASと診断された。

コンプライアンスの遵守は企業の社会的責任です

2003年2月、JR山陽新幹線岡山駅での運転士による居眠り運転がきっかけとなって、SASが注目されるようになりました。それまで居眠り運転は事故を起こしたドライバーの責任とされてきましたが、現在では企業・運輸交通業界全体の責任とみられるようになってきました。このことからSAS対策は生産性の向上やコンプライアンスの遵守だけでなく、より高次の社会貢献や配慮を果たしていくために重要だと考えられています。

法人概要

法人名	一般財団法人運輸・交通SAS対策支援センター
所在地	〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5号 全日本トラック総合会館2階
代表理事・理事長 別所 恭一	
TEL	03-3359-9010
FAX	03-3356-5454



検査のお申し込み・お問い合わせ

☎ 03-3359-9010

土日祝日をのぞく
9:00~17:00



<https://www.sas-support.or.jp/>

SAS 対策支援センター

検索

GOOD DESIGN



睡眠時無呼吸症候群による 交通事故をゼロに

スクリーニング検査を通して、安全で健康な日々を



一般財団法人
運輸・交通 SAS 対策支援センター

睡眠時無呼吸症候群の簡易検査をご自宅で

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは？

睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome、SAS)はその名の通り、睡眠中に呼吸が止まってしまう病気です。通称「SAS」とも言われます。医学的には、10秒以上気道の空気の流れが止まった状態を無呼吸とし、一晚(7時間の睡眠中)に無呼吸状態が30回以上、または1時間あたり5回以上あれば、睡眠時無呼吸であると言えます。

そのいびき、病気かも？

これらの兆候が見られた場合は、睡眠時無呼吸症候群の可能性があるので、専門の医療機関に相談することが重要です。適切な診断と治療を受けることで、症状や将来的な健康リスクを減らすことができます。



いびき

大音量で、不規則ないびきをかく。



落ち着かない睡眠

夜間に何度も目を覚ます、動きが多いなどの不安定な睡眠パターン。



呼吸の停止

睡眠中に呼吸が数秒から数十秒間停止する。



日中の過度な眠気

昼間に異常な眠気や、眠り込む様子を示す。



ガスパや窒息

呼吸が再開する際に、ガスパ(大きく息を吸い込むこと)や窒息するような音がする。

まずは自宅で手軽にスクリーニング検査



スクリーニング検査について

検査機器を指にはめて 睡眠時の呼吸状態をモニタリング

検査機器(パルスオキシメーター)を指に装着して寝ることで、睡眠時における動脈血酸素飽和度(SpO₂)と脈拍数を測定し、睡眠時無呼吸症候群の可能性を判定する簡易的な検査です。検査機関や病院に出向く必要はなく、ご自宅等で測定が可能です。検査にはリラックスした状態での連続した睡眠が4時間以上記録されることが必要です。検査後、受診者様のSAS傾向をA～Fの6段階で判定し、結果票を封書にてお届けします。

検査費用

法人のお客様

助成金最大
5,000円

検査費用1人あたり

5,240円

(税込・送料込み)

トラック協会やバス協会の会員の企業であれば、助成金が受けられます。

個人のお客様

検査費用1人あたり

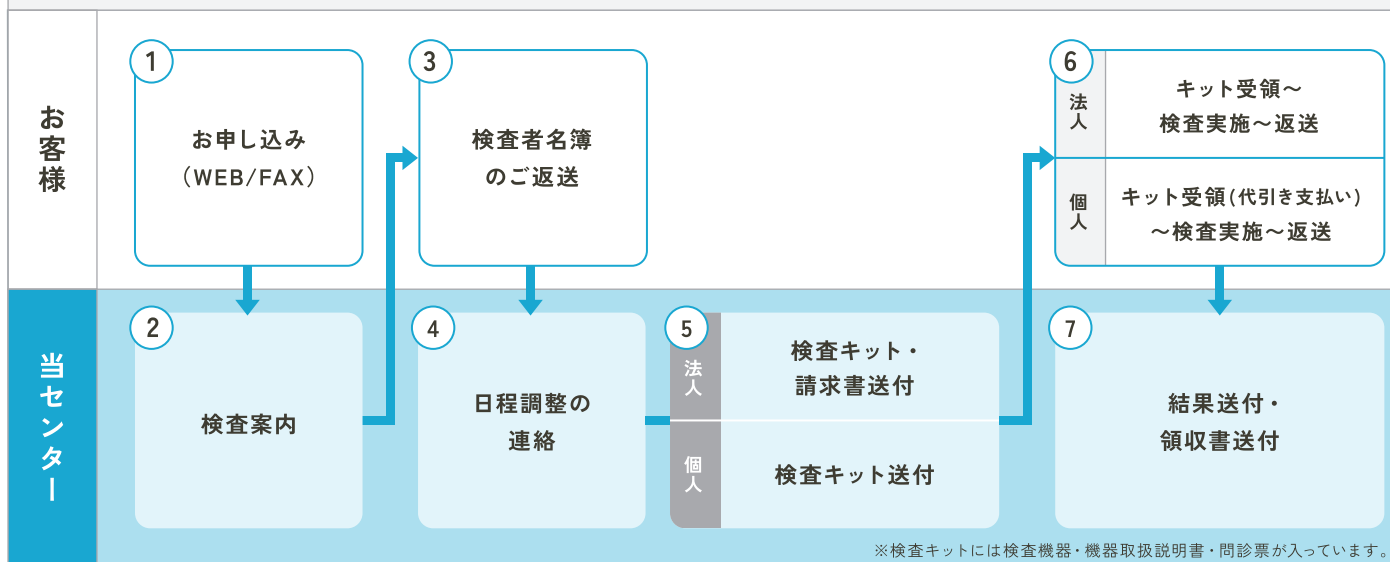
5,240円 + 機器送料+代引手数料

(地域によって異なります)

(税込・送料込み)

スクリーニング検査の流れ

お申し込み後に当センターより日程調整のご連絡をいたします。
お申し込みから検査結果送付まで、おおよそ1ヶ月で完了いたします。



※検査キットには検査機器・機器取扱説明書・問診票が入っています。